

株式会社イマナガ 2016年 CSR 報告書



本報告書は、株式会社イマナガのCSR（企業の社会的責任）に関する考え方や取組みについてステークホルダー（利害関係を有する方々）の皆様にはわかりやすくご報告し、ご理解いただくことを目指しています。

弊社では、このCSR報告書以外にもホームページや公益財団法人産業廃棄物処理振興財団の産廃情報ネットにてさまざまな情報を更新しております。

WEB サイト

公益財団法人産業廃棄物処理振興財団の産廃情報ネット

<http://www.sanpainet.or.jp/>

株式会社イマナガ ホームページ

<http://www.imanaga-r.co.jp/>

対象期間

2016年度（2015年8月1日～2016年7月31日）まで

対象組織

株式会社イマナガ

発行時期

2013年8月（初回）

2014年8月（2版）

2015年8月（3版）

2016年8月（4版）

【目次】

基本指針・環境方針	1
トップメッセージ	2
会社概要	3
組織体制・ISO14001：2004への取組み	4・5
CO ₂ 排出量の把握	6・7
デジタルタコグラフ設置車両の燃費	8
従業員教育（外部）	9
従業員教育（内部）	10・11
太陽光発電の状況	12

基本指針・環境方針

基本指針

(株)イマナガは、廃棄物の資源化・有効利用を継続して実行することを最終目的とし、廃棄物を適切に処理することによって環境への悪影響を低減し、処理技術の確立に努め、収集運搬から中間処理及び容器包装リサイクル事業まで一貫したシステムによる再資源化 100%を目指し、循環型社会づくりに貢献する事業活動を行います。

環境方針

1. 事業活動において、環境側面を意識し廃棄物の資源化・有効利用、廃棄物の処理に係わる環境への影響を自主監査し、環境負荷を低減します。
2. 廃棄物の処理に係わる適切な技術の開発、実行、改善を継続的に実施し、省資源、省エネルギーなど、環境汚染の予防に務めます。
3. 環境関連の法規制、その他の要求事項を順守し、環境汚染物質などの排出については自主基準を定め、確実に環境保全に努めます。
4. 事業活動において、環境目的及び目標を設定し、継続して見直し改善します。
5. 環境保全活動を通じて、地域社会に積極的に貢献します。
6. 環境方針は全従業員及び当社へ係わる事業者に周知し、一般に公開します。

改訂 2006.1.15

トップメッセージ

2016年弊社は大きな選択を致しました。

2005年より取り組んでまいりました「容器包装リサイクル再商品化事業」の見直しを行い、長い時間をかけいろいろな改善を行ってまいりましたが、数年にわたる受入量の減少や人材確保の困難及び本業の産業廃棄物処理業（処分業及び収集運搬業）の多忙により、2016年7月末日をもって事業から撤退することとなりました。これまで多方面にわたりご支援、ご協力を賜りました関係者の皆様にはまことに申し訳なく存じますが、なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

容器包装リサイクル再生処理事業者として、環境影響にかかわる項目を数値化する事や製造したものをデータで評価し改善するというようないろいろな事を勉強させていただき、社員もより良いものを製造しようという意識のもと努力してまいりましたが、新たなる目標に向け前に進む選択を致しました。社員を見ていますと、今までの取り組みが間違いではなかったという事を実感させられます。

また、環境にかかわる事業を行っている企業として、コンプライアンスを全社員に浸透し実践するために、社内及び社外において学習する機会を多く設け、また吸収した知識を基にお客様の要望に応えることのできる活動を行えるように日々努力をしていきたいと思っております。

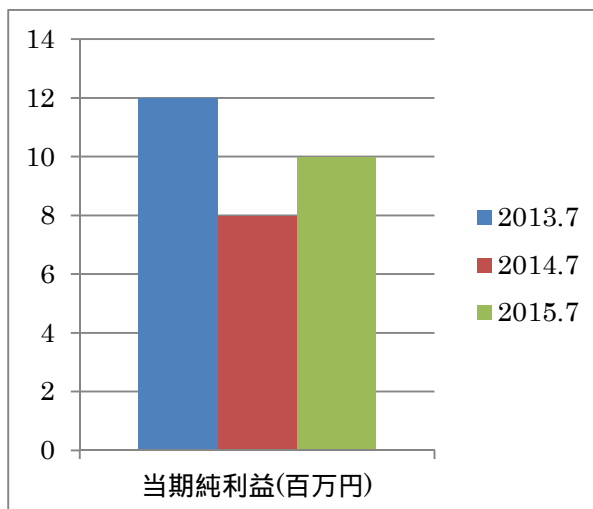
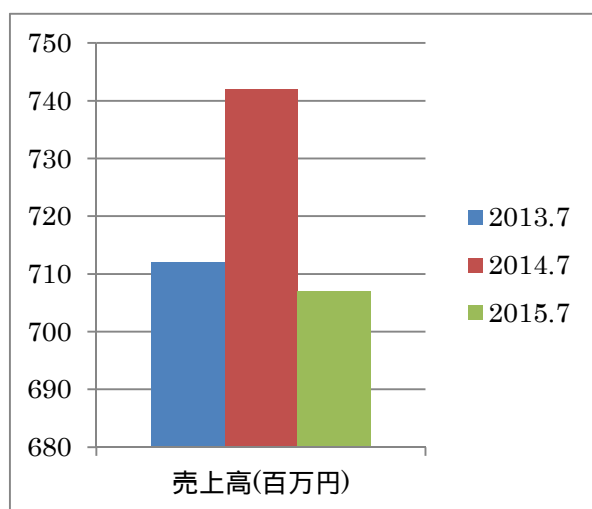
新たな取り組みとして2016年1月より、弊社の車両48台のうち6台が、Gマーク対象車両になりました。Gマークとは、緑ナンバーのトラックについているもので、トラック運送事業者の安全・安心・信頼のマークです。2014年に設置したドライブレコーダーとともに、運転者の心に安全運行の芽が確実に育つように願っております。

来期に向けての取り組みとして、昨年より弊社に設置してある4台の破碎機を、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の産業廃棄物処理施設として設置許可申請するために、2015年7月3日に2006年8月に許可を取得したごみ処理施設に次いで、建築基準法第51条ただし書きの許可を取得し、現在北九州市に設置許可申請を行っております。今までの破碎処理施設に比べ、破碎機も増設し処理能力も増え各種の廃棄物に対応できるようにと準備を進めております。

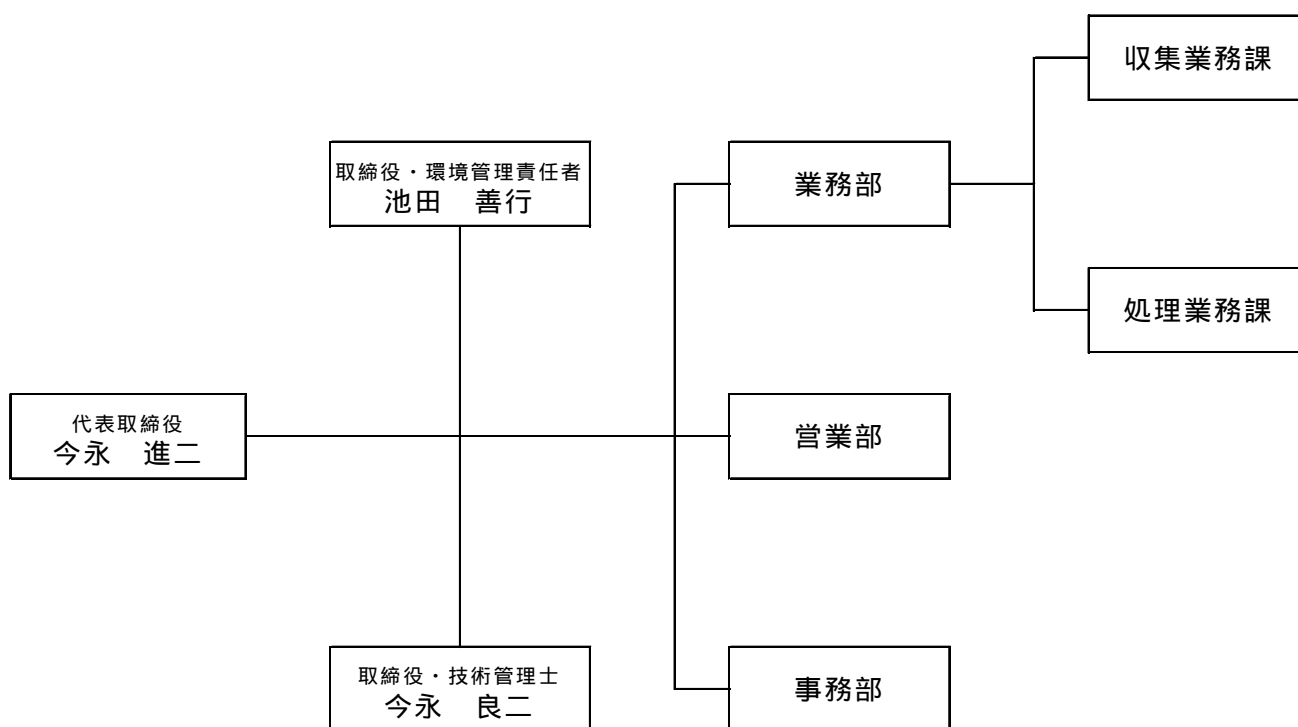
会社概要

商号	株式会社イマナガ
所在地	〒800-0115 福岡県北九州市門司区新門司三丁目 38 番 2 号 TEL093-481-5097 FAX093-481-5098 Mail : info@imanaga-r.co.jp
代表者名	代表取締役 今永進二
役員	取締役 池田善行 取締役 今永良二 監査役 今永洋子
従業員数	43 名
工場所在地	本社工場・第一工場 福岡県北九州市門司区新門司三丁目 38 番 2 号 第二工場 福岡県北九州市門司区新門司三丁目 38 番 1 号 MR工場・MR第二工場 福岡県北九州市門司区新門司三丁目 41 番
資本金	50,000,000 円
ISO14001 認証番号	JQA EM-1520 (2001 年 4 月 13 日登録)
取引銀行	福岡銀行 門司駅前支店 北九州銀行 門司支店

売上高と当期純利益の 3 年間の推移



株式会社イマナガ組織体制 (2016年8月1日改訂)



ISO14001 : 2004 による環境への負荷低減の取り組み(2001年4月13日登録)

期間	重点目標
~ 2003.7.31	廃棄物のマテリアルリサイクル推進、各燃料の効率的使用のためのデータ作成・自主基準値作成
2001.8.1 ~ 2002.7.31	各データ収集により把握した基準値をもとに目標値を決定し、有効的なマテリアルリサイクルを推進
2002.8.1 ~ 2003.7.31	廃棄物のマテリアルリサイクルは目標値を大きく超え、設備の導入や分別精度にも展開
2003.8.1 ~ 2006.7.31	電気の効率的な使用、燃料の効率的な使用、紙の有効利用
2006.8.1 ~ 2009.7.31	廃プラスチック類のマテリアルリサイクル推進・各種燃料使用料の低減、労働者の安全衛生確保、グリーン購入法推進
2009.8.1 ~ 2012.7.31	廃棄物のマテリアルリサイクル推進、顧客先管理台帳による一元化(契約書、収集運搬、処理)、従業員のリスクアセスメントへの取り組み
2012.8.1 ~ 2015.7.31	前期までの取組を継続 従業員一人一人の教育による意識の改革と視覚教材を使用した教育訓練
2015.8.1 ~ 2018.7.31	Gマーク取得に向けての取組み等 ISO14001 2015 規格改定に向けての取組み

現在までの取組の問題点

2001年より取り組んできた省資源・省エネルギーの推進については、全社的な取り組みとして通常の業務において、電気の合理的な使用を行っておりますが、気温により機械の負荷が違いまた機械の使用年数が長くなるに従い、把握が難しくなっています。

現在までの取組により変化したもの

電気の突発的な使用量の変化については、九州電力様の協力により2016年2月～3月にかけて、MR工場及びMR第二工場に機器を取り付け、全施設についてのデータ取得が出来原因を突き止めることが出来ました。その結果を各施設の担当者とは話し合い、効率的な稼働を目指すようにしました。また各施設については、定期的なメンテナンスや機械の消耗品の把握など現在までのデータをもとに、省力化できる活動を行いました。

収集運搬車両については2014年8月より、目で見える安全・エコ運転の取組として映像記録型ドライブレコーダー搭載デジタルタコグラフ「DENSODライビングパートナー」を車両に設置し、継続的に収集業務課としての活動を行い、燃費の向上を目指しています。毎月、映像による教育訓練や、安全に対する顧客先の資料等を読みながらの教育を行い、環境負荷の低減や安全対策を従業員が自発的に行えるようにしています。また廃棄物の回収時には「顧客先別収集運搬カード」を持参し、収集運搬方法や回収時の注意等を確認しています。

環境に関する影響負荷ができるだけ少なくなるように、社内で使用しているフォークリフト(6台)の燃料は、窒素酸化物(NOx)が少なく、硫黄酸化物(SOx)や煤煙がほとんど発生しない、クリーンエネルギーであるLPGにしています。

処理業務課は弊社に搬入している廃棄物が適正に処理出来ているかの確認を、書類を通じて行えるように顧客先ごとに「顧客先別処分カード」を作成し、処理時に再確認しています。

「顧客先別収集運搬カード」や「顧客先別処分カード」は、変更点があった場合はその都度改訂できるようにしています。

地域社会との交流活動

会社周辺の清掃作業(3回/年)を行っています。

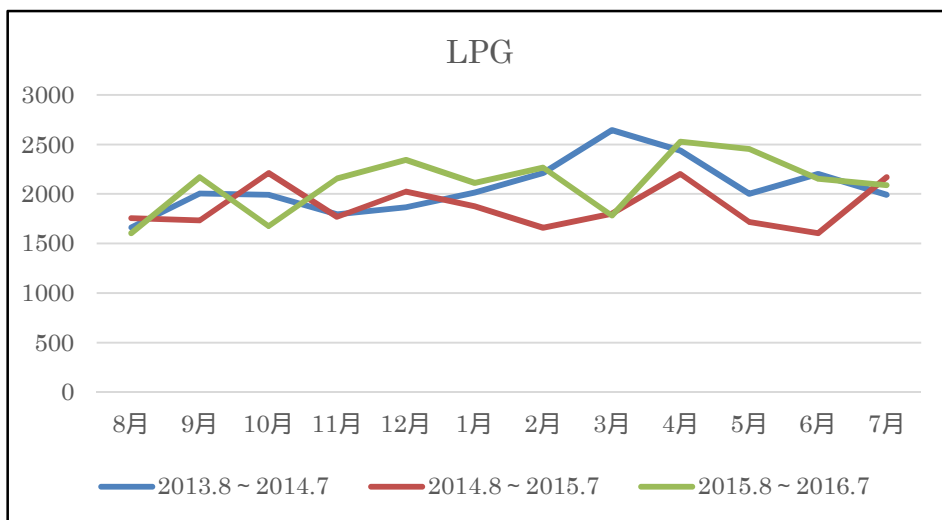
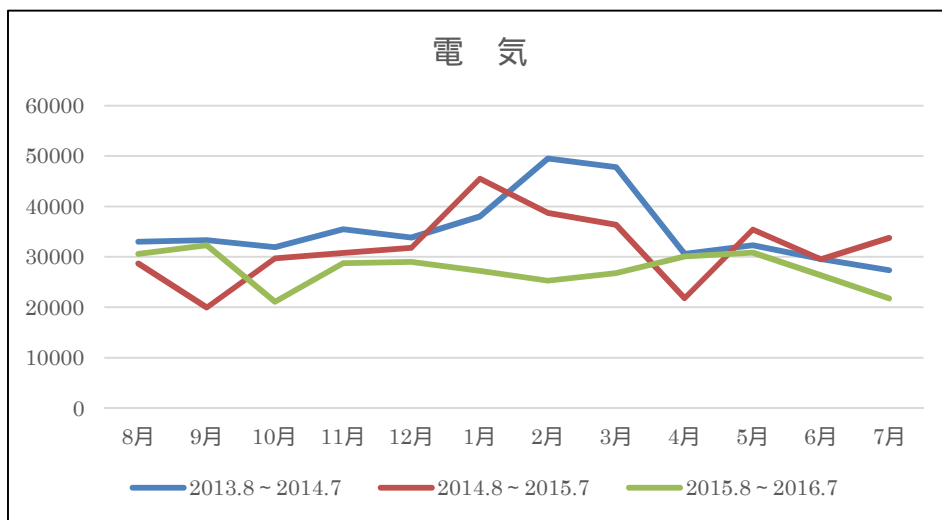
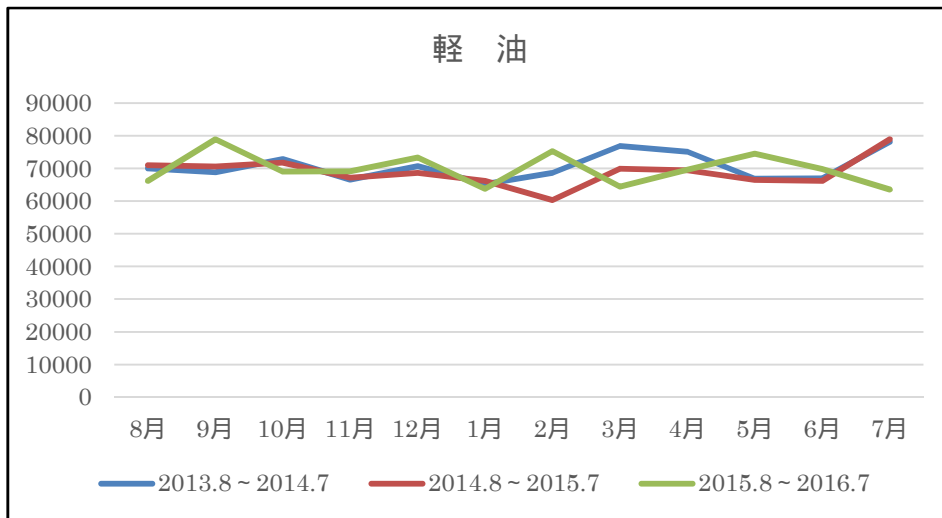
2016年の北九州マラソンについては、ファンラン(5km)で2名(2014年と同じ社員が走りました。)完走しました。また例年と同じようにボランティア活動も参加しました。

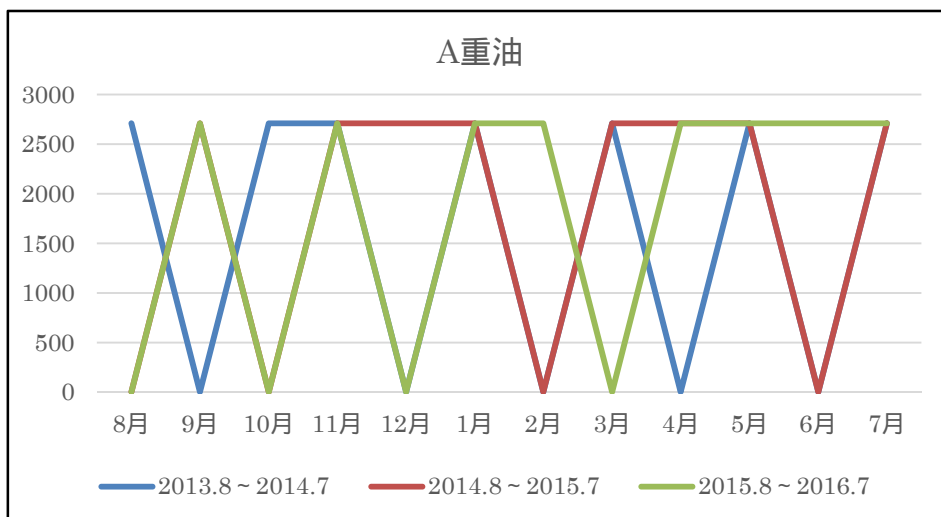
2017年2月19日に来年は開催されます。



会社内で使用する燃料についてのCO₂排出量の把握

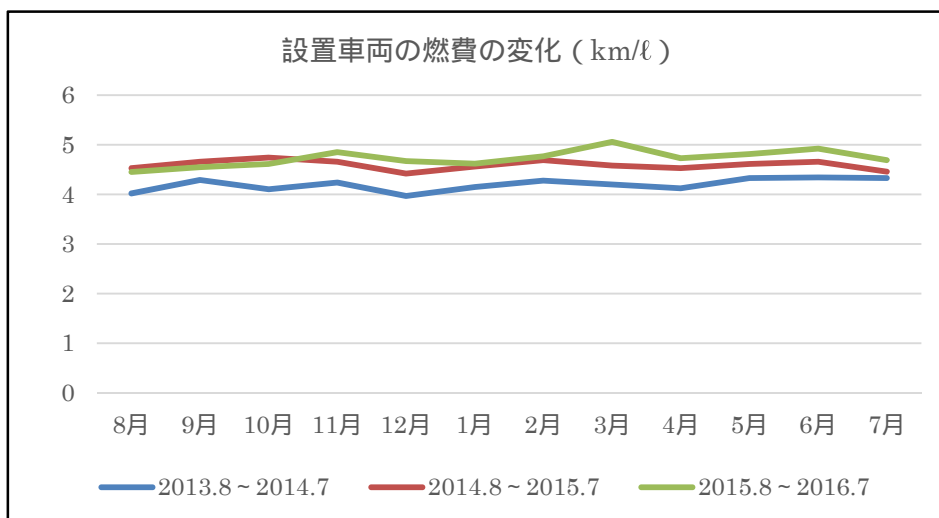
単位はすべて kg/CO₂ です





環境省の温室効果ガス排出量計算のための算定式及び排出係数一覧表による

デジタルタコグラフ設置車両の燃費（33台）



デジタルタコグラフ設置後の車両について

33台の車両にデジタコを設置していますが3台新車が入り大きく燃費が上がりました。運転手もデジタコのメッセージに慣れてきたようですが、「急加速です。」「急発進です。」などと言われるとさすがに気になるようで、安全運転や燃費に大きく貢献しているようです。メッセージに文句を言っているようですが、安全に運行出来ていることに感謝です。

速度計と、デジタコの数値とあっていないという問題もありますが、回転数の管理を的的確な数値を入力するようになって改善されました。デジタコを設置してから三年たちますが、緊張感は継続しているようです。またデジタコもですが、ドライブレコーダーも設置されていますので、自社の走行管理だけではなく無理な追い越しをされ車両が損傷した場合など、相手車両の特定にもつながります。

高齢化社会になり、高齢ドライバーが第一当事者になる交通事故が増加しています。弊社が加入している福岡県トラック協会でも高齢者を対象として参加・体験型研修の「シルバー・セーフティ・ドライビングスクール」を開催しています。

従業員教育

外部教育（2015年8月から2016年7月まで）		
年 月 日	内 容	参加人数
2015.8.21	甲種防火管理講習	1名
2015.9.7	危険物取扱者定期講習	1名
2015.9.4	危険物取扱者定期講習	1名
2015.9.8	危険物取扱者定期講習	1名
2015.9.10	運行管理者等一般講習	1名
2015.9.14	安全運転管理者講習	1名
2015.9.18	副安全運転管理者講習	1名
2015.9.25	ISO14001 2015年版解説&対策セミナー	2名
2015.10.5	副安全運転管理者講習	1名
2015.10.13	平成27年度 運輸安全マネジメント安全運転研修会	1名
2015.10.23	派遣先責任者講習	1名
2015.11.4	応急手当普及資格取得等講習	1名
2015.11.18	福岡県産業廃棄物処理業者講習会	1名
2015.11.18	運行管理者基礎講習	1名
2016.1.29	北九州市産業廃棄物3R適正処理推進講習会	2名
2016.3.24	顧客先入門安全講習	3名
2016.4.4	顧客先入構安全講習	3名
2016.4.6	顧客先入門安全講習	1名
2016.4.7	顧客先入門安全講習	3名
2016.4.8	顧客先入門安全講習	1名
2016.4.12	顧客先入構安全講習	1名
2016.4.28	顧客先入門安全教育	1名
2016.7.11	顧客先安全講習	4名
2016.7.13	顧客先安全講習	3名
2016.7.15	顧客先安全講習	2名
2016.7.20	顧客先安全講習	1名
2016.7.21	顧客先安全講習	1名
2016.7.21	平成28年度管理監督者労務担当者講習会	1名
2016.7.25	関門・宇部海域排出油等防除協議会講習	1名
2016.7.27	顧客先入門安全講習	3名

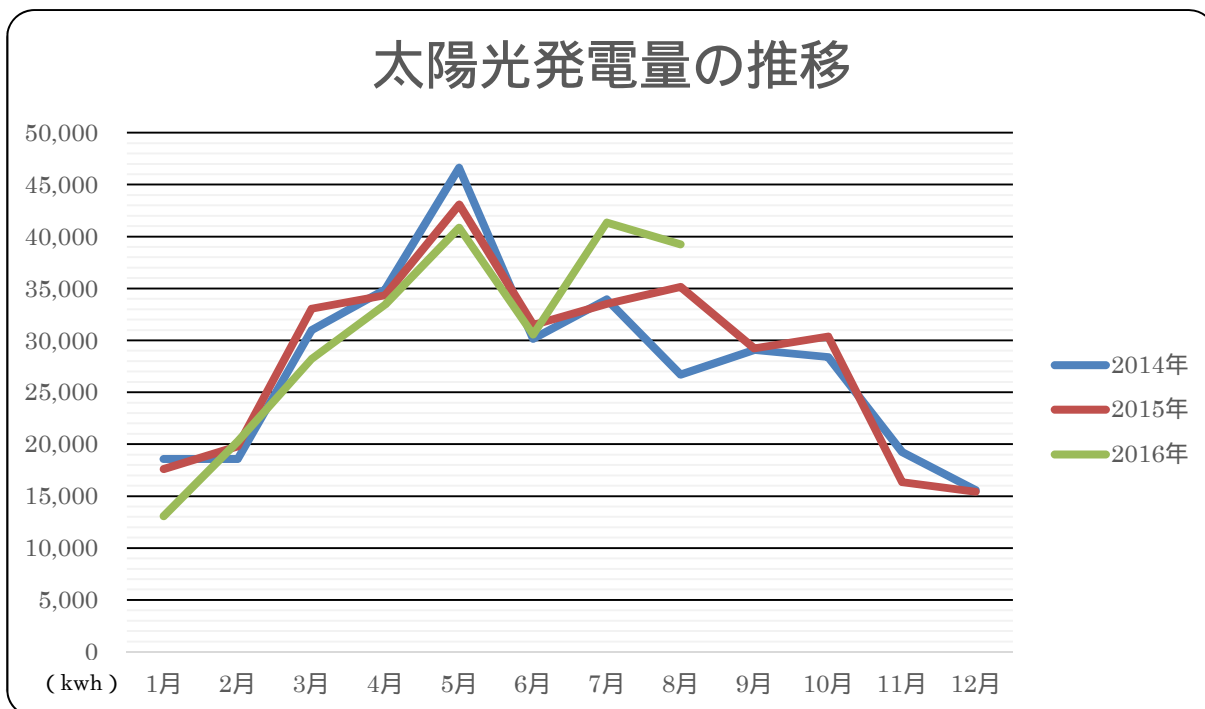
内部教育（2015年8月から2016年7月まで）		
年 月 日	内 容	参加人数
2015.9.10	除袋・破袋機のメンテナンスについての	1名
2015.9.14	新入社員教育	1名
2015.9.15	施設及び作業についての安全教育	1名
2015.10.1	新入社員教育	2名
2015.10.2	施設及び作業についての安全教育	1名
2015.10.3	改訂手順書の運転テスト	3名
2015.10.3	施設及び作業についての安全教育	1名
2015.10.3	車両点検及びメンテナンスの新入社員教育	1名
2015.11.4	施設メンテナンスについて	2名
2015.10.24	収集運搬 Gr・安全対策教育及び顧客先場内ルールの確認	14名
2015.11.7	顧客先環境方針の周知（新入社員教育）	2名
2015.11.7	顧客先環境保全活動へのご協力をお願い周知	17名
2015.11.17	フォークリフト運転管理手順書の教育（新入社員）	1名
2015.11.21	電子マニフェスト入力漏れ対策教育	5名
2015.11.21	保険会社によるドライブレコーダーを活用した交通安全教育	30名
2015.11.25	顧客先入門手続きの再教育	1名
2015.11.26	顧客先入門手続きの再教育	10名
2015.12.1	顧客先入門手続きの再教育	8名
2015.12.21	顧客先対応手順書の改訂教育	5名
2016.1.16	消防訓練	20名
2016.1.30	収集運搬 Gr・安全対策教育及び顧客先場内ルールの確認	14名
2016.2.27	収集運搬 Gr・トラック運転者の為の安全運行（DVD）	17名
2016.3.26	収集運搬 Gr・トンネル内防災（DVD での教育）	17名
2016.4.19	顧客先荷卸し手順書の教育	1名
2016.4.20	九州電力様による電気関係安全研修	27名
2016.4.23	顧客先入場注意事項の確認	11名
2016.5.28	収集運搬 Gr・突然死を防ぐには（DVD での教育）	15名
2016.7.4	収集運搬 Gr・孫子の兵法に学ぶ安全への道（DVD での教育）	12名
2016.7.23	収集運搬 Gr・顧客先安全教育	13名

内部教育の状況



太陽光発電（イマナガ発電所）の状況

発電出力 306.0kW



太陽光発電の問題点

天候に大きく左右される事が一番だと思いますが、周辺の状況によりパネルにほこりが付き大雨が降らなければそのほこりがついたままになるため、パネルの洗浄をしなければならなくなります。洗浄の時期はパソコンに異常と表示されるのでわかります。

雨の日は発電量がかなり減りますが、パネルにとっては恵みの雨になります。

4年目になりましたが、機械の故障もなく順調に発電しています。工場の屋根に低く設置しているため、台風時にも異常がありませんでした。

5月の発電量が一番多く、夏場よりも高くなります。気温が高すぎても効率の良い発電にはならないようです。

